

2021年度入社対象 新卒採用活動に関するアンケート結果

—コロナ禍における採用活動の状況と今後の見込み—

2020年9月15日

一般社団法人 日本経済団体連合会

調査概要

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響が新卒採用活動にも及んでいる状況に鑑み、その影響と課題、対応状況等を把握するため、経団連全会員企業を対象にアンケートを実施。
- 加えて、新卒採用における通年採用やジョブ型採用の取組みについても調査。

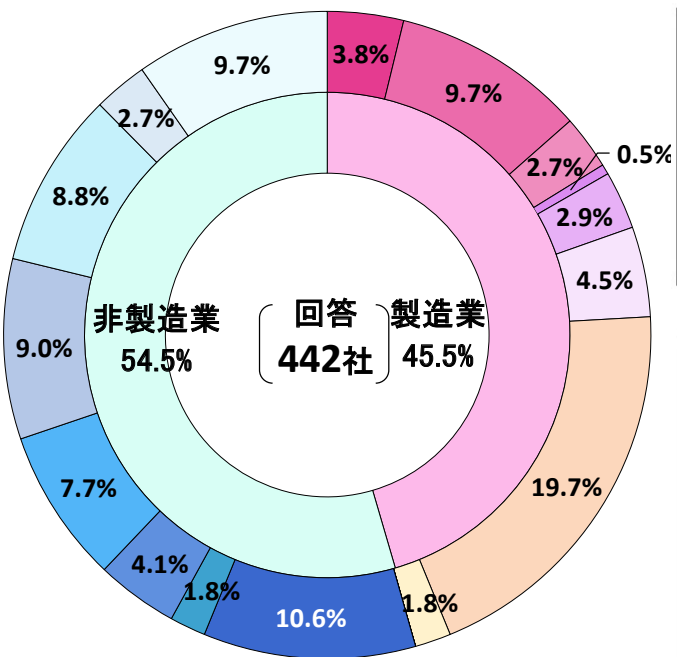
2021年度入社対象 新卒採用活動に関するアンケート

調査対象	経団連全会員企業（1,448社）
調査期間	2020年6月26日～7月22日
調査方法	電子メールによる調査票送付、回収
回収企業数	442社（回答率30.5%）

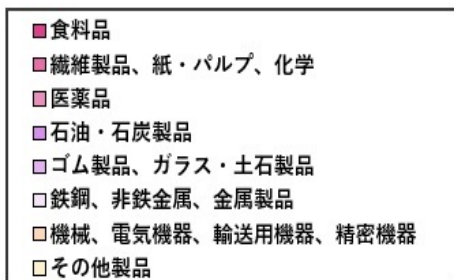
回答企業に関する基礎情報

- 回答企業442社のうち、製造業45%、非製造業55%
- 従業員規模1,000人以上が72%
- 70%が上場企業

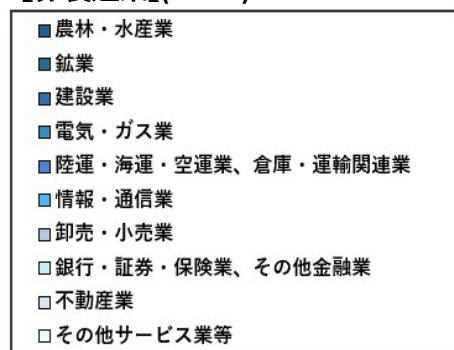
【主な事業内容】



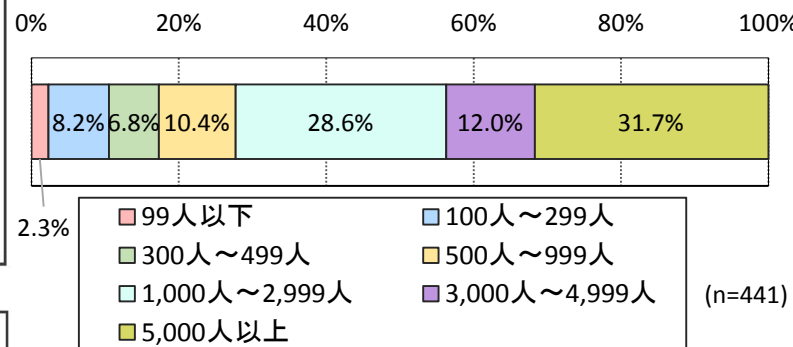
【製造業】(n=201)



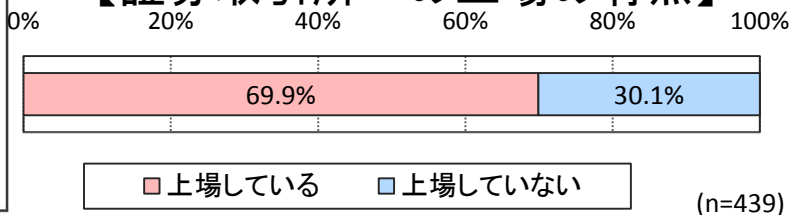
【非製造業】(n=241)



【従業員規模】



【証券取引所への上場の有無】



1. 新卒採用活動の実施状況

- 2020年度において、新型コロナウイルス感染拡大により、多くの企業で業績の不透明感が増しているものの、ほとんどの企業で新卒採用活動を実施。

2020年度の業績見通し
(営業利益の前年度比)

大幅に改善(2割以上増)

3.2%

改善(2割未満増)

8.0%

前年度並み

21.6%

その他

28.6%

悪化(2割未満減)

17.0%

(n=440)

大幅に悪化(2割以上減)

21.6%

2020年度における新卒採用活動の
実施状況(予定含む)

実施していない・実施予定はない

4.1%

実施した(中断を含む)・
実施予定

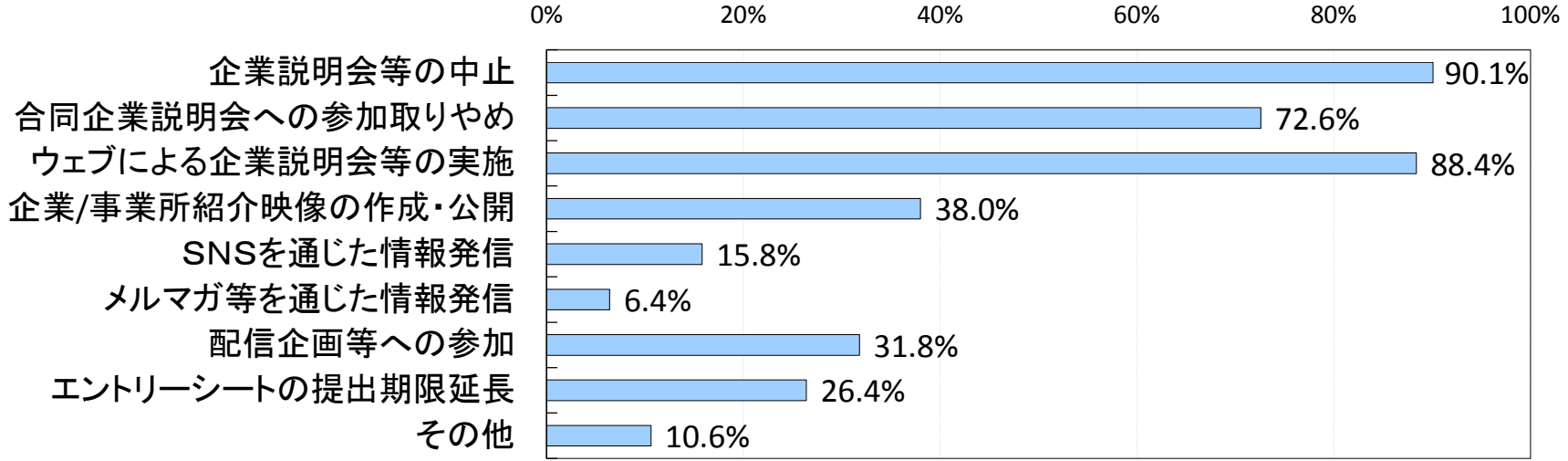
95.9%

(n=442)

2. 新型コロナウイルス感染症拡大による影響 (1) 広報活動の実施状況

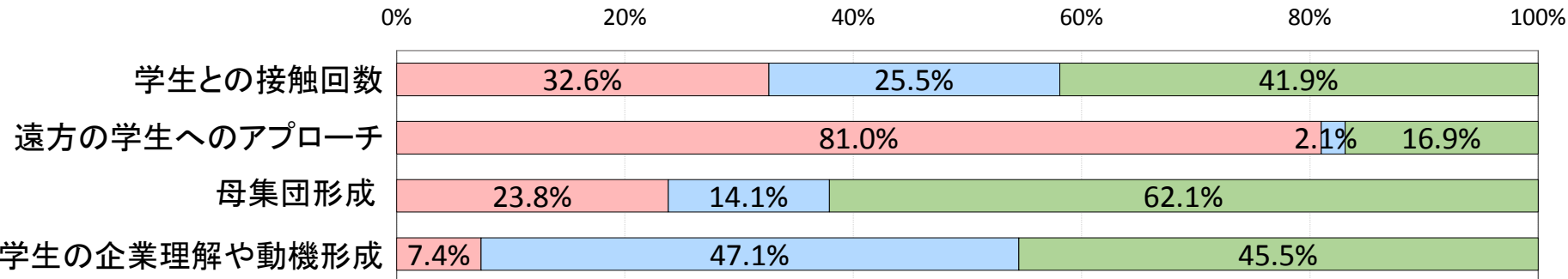
- 約9割の企業が「ウェブによる企業説明会等」を実施したほか、多くの企業が「企業紹介映像の作成・公開」や「配信企画等への参加」を実施するなど、対面型から非対面型へのシフト傾向が顕著。
- ウェブ活用について、遠方の学生がアプローチしやすいと考えている企業が多い一方、学生の企業理解や動機形成が進みにくいと考えている企業が多い。学生との接触回数や母集団形成については、評価が割れた。

＜広報活動における影響や工夫した点＞



(n=420)

＜広報活動におけるウェブ活用の拡大による影響＞



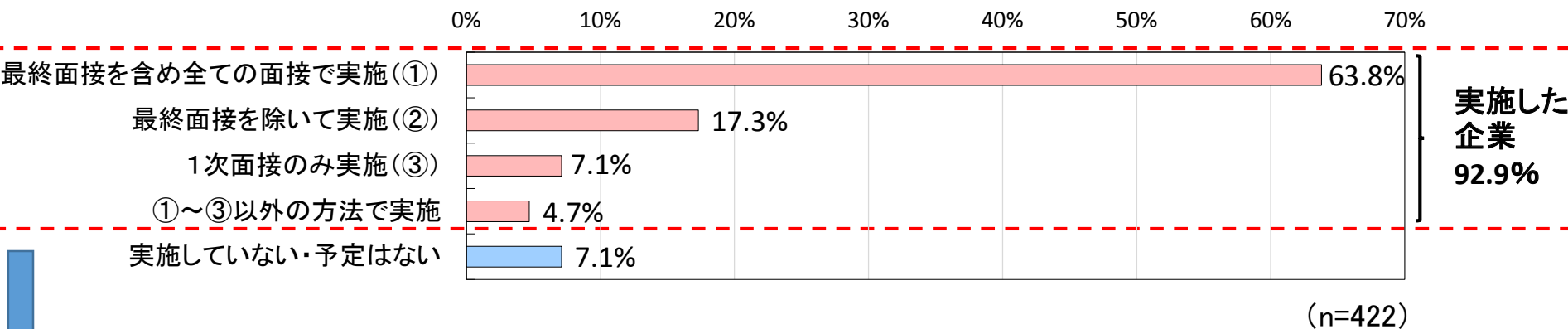
■ プラスに影響 ■ マイナスに影響 ■ どちらともいえない

(n=420)

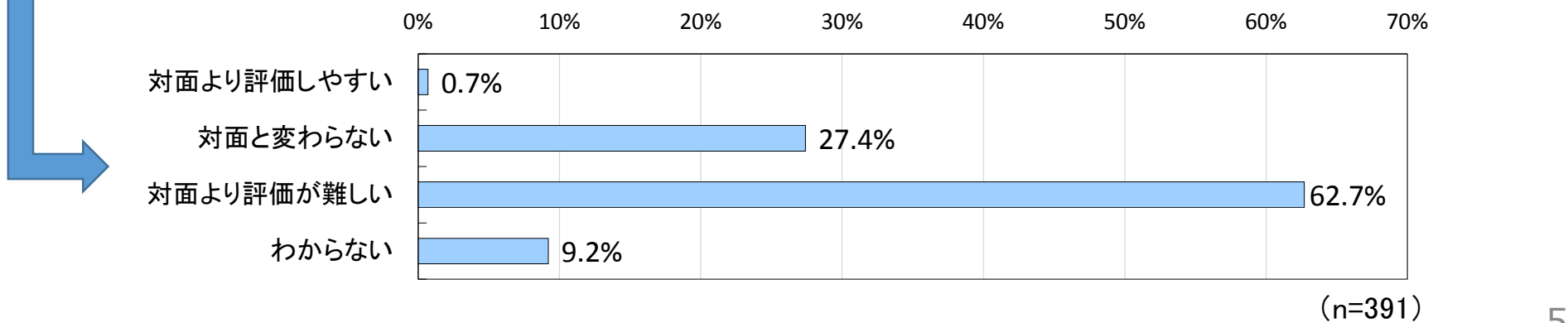
2. (2) 選考活動の実施状況①

- ウェブ面接について、9割超の企業が実施し、6割強の企業が最終面接を含めて全て活用。
- ウェブ面接を実施した企業のうち、対面の面接より学生の評価が難しいと回答した企業は6割超。

<ウェブ面接の実施状況>



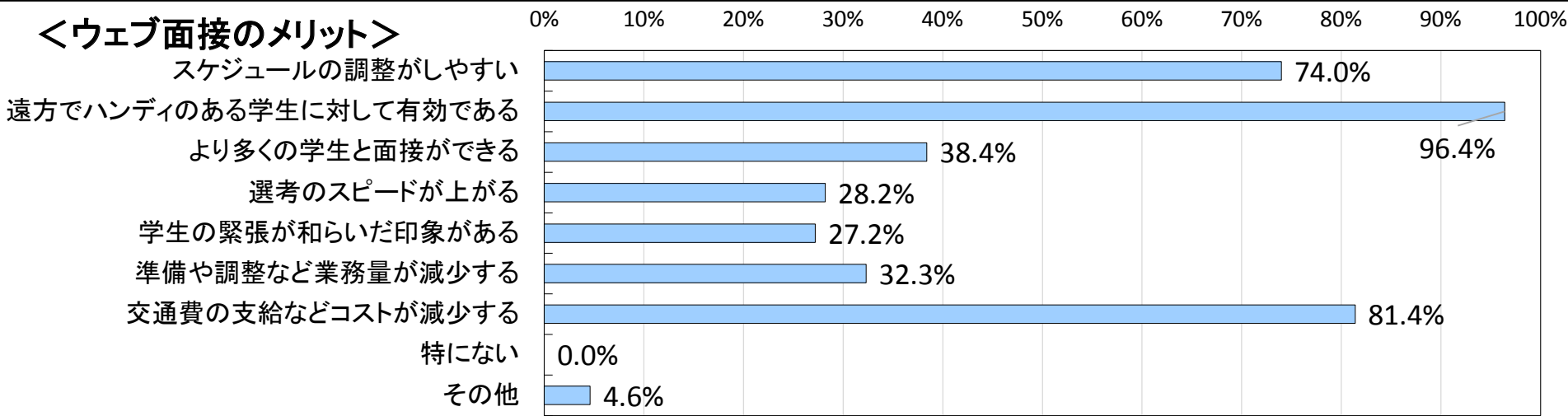
<対面と比べた学生の評価>



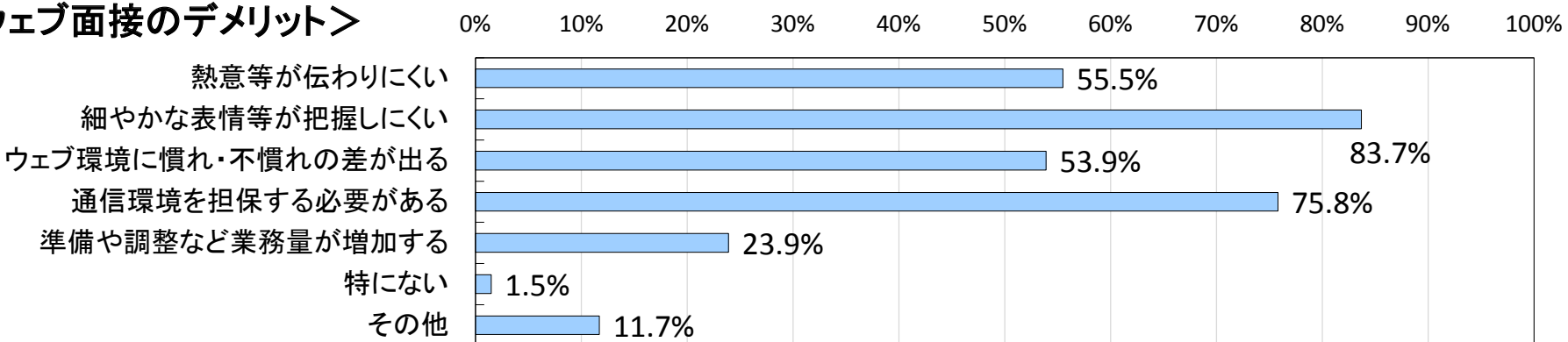
2. (2) 選考活動の実施状況②

- ウェブ面接のメリットとして、ほとんどの企業が「物理的距離でハンディのある学生に対して有効」と回答。「交通費などのコスト減少」「スケジュール調整のしやすさ」の回答割合も高い。
- 一方、ウェブ面接のデメリットとして、「細やかな表情等が把握しにくい」「熱意等が伝わりにくい」といった評価面の指摘に加え、「通信環境の担保」「ウェブ環境への適応度合いの差」といった実施環境に関する回答も多い。
- ウェブ面接導入に伴う業務量については、「減少する」と回答した企業が「増加する」と回答した企業を8.4ポイント上回った。

<ウェブ面接のメリット>



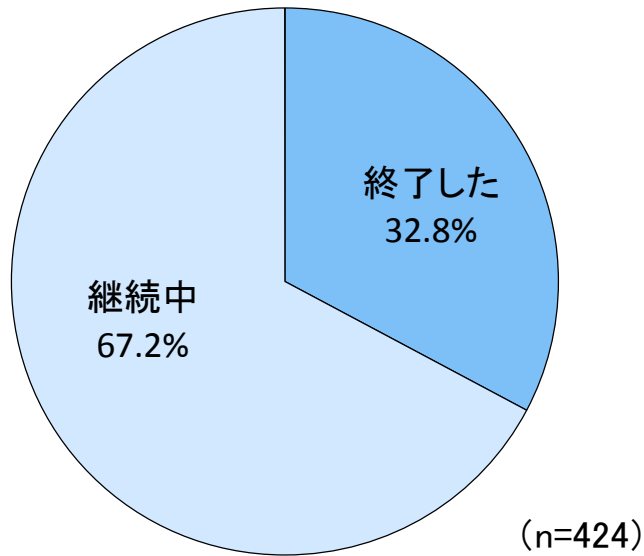
<ウェブ面接のデメリット>



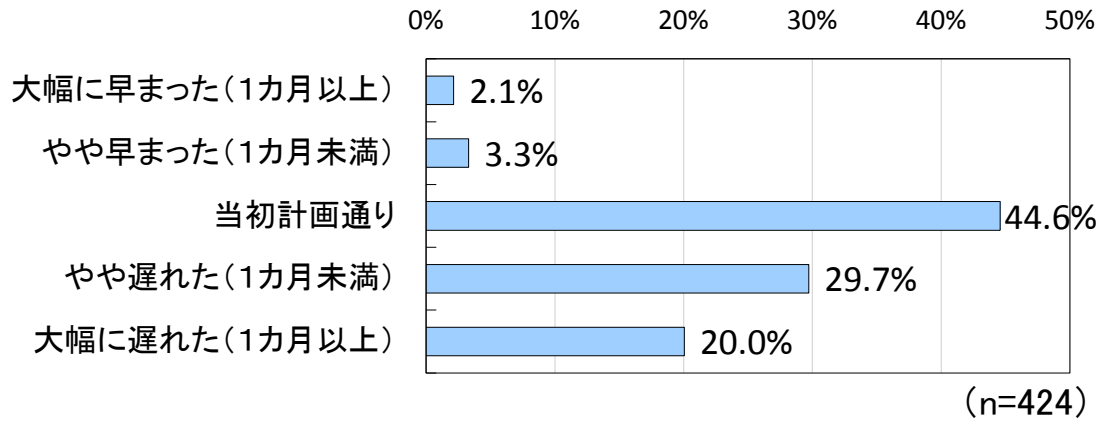
2. (3) 採用スケジュールへの影響

- 7月初旬時点において、採用活動を終了した企業は3割強。
- スケジュールについて、「計画どおり進めている企業」が4割強、「採用活動の進捗が遅れている企業」が5割。

< 7月初旬時点における採用活動の状況 >



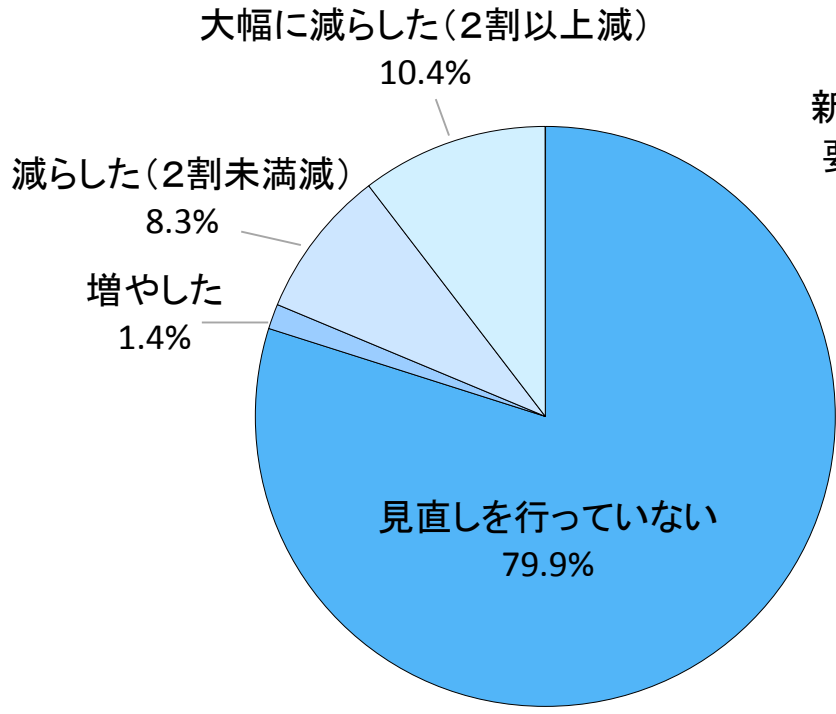
< 採用活動終了(予定)時期(当初計画比) >



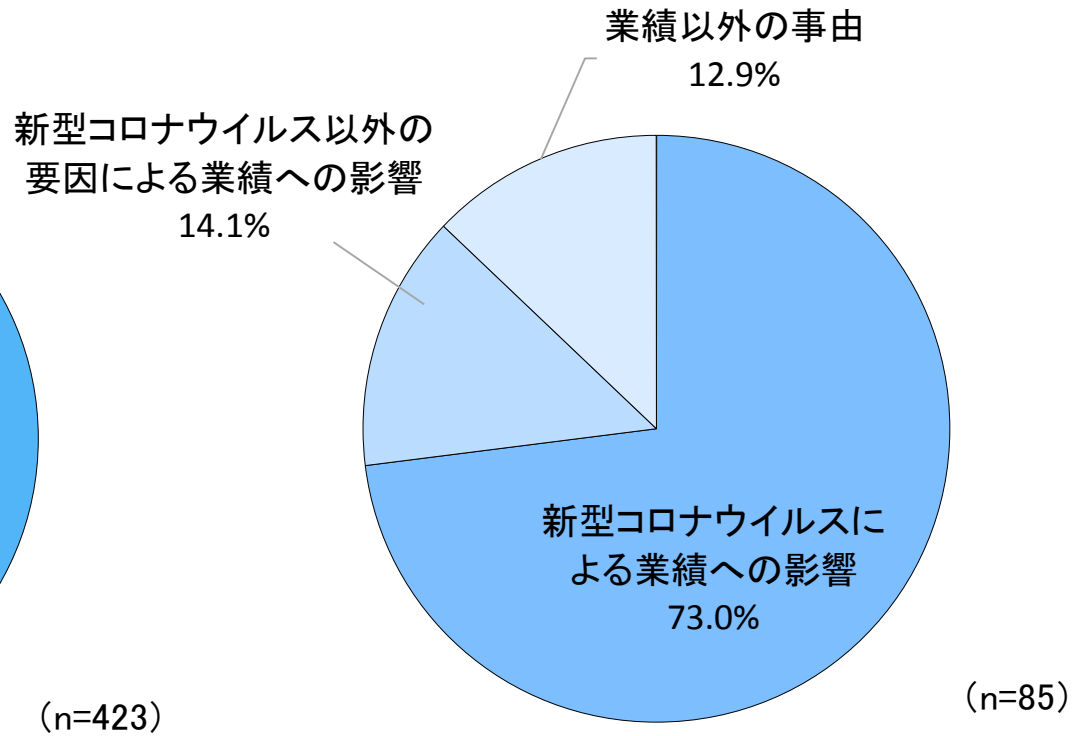
2. (4) 採用人数への影響①

- 採用計画の人数について、約8割の企業が「当初計画どおり」と回答。採用計画の人数を減らした企業は2割弱。
- 採用計画の人数を見直した理由について、「新型コロナウイルスによる業績への影響」と回答した企業が7割超。

<採用計画の見直し>



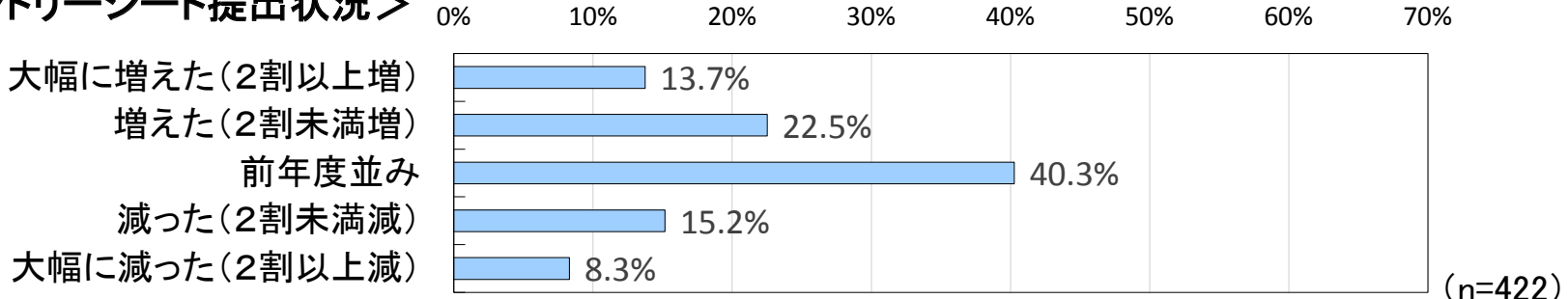
<採用計画の見直し事由>



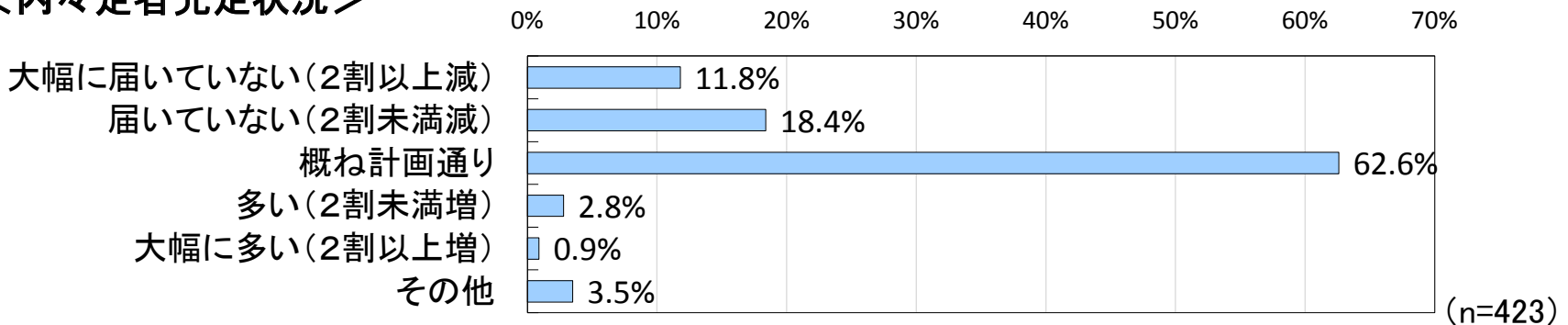
2. (4) 採用人数への影響②

- エントリーシートの提出状況は、「増加」および「前年度並み」の企業がそれぞれ4割程度。
- 内々定者の充足状況について、6割強が「概ね計画どおり」と回答し、不足している企業は約3割。
- 内々定者の辞退率は、約5割の企業が「前年度並み」、「減少」した企業が4割弱。

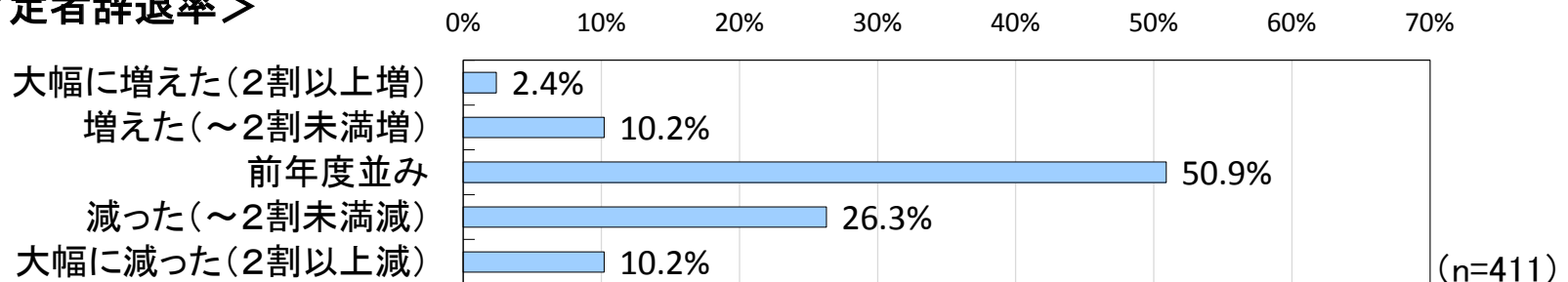
<エントリーシート提出状況>



<内々定者充足状況>



<内々定者辞退率>

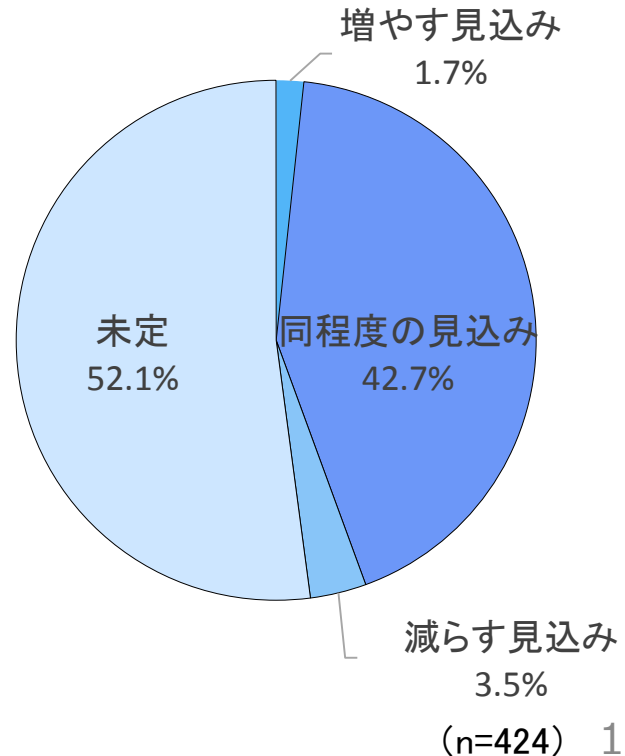
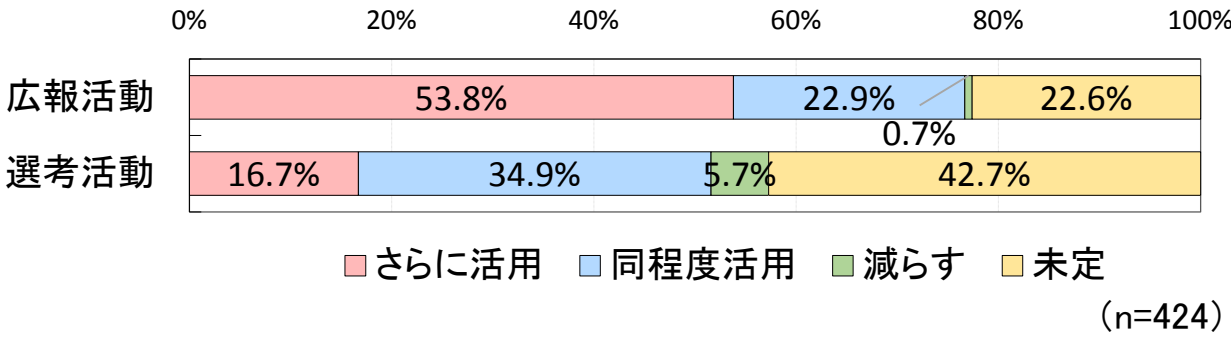


2. (5) 来年度の新卒採用活動への影響

- 来年度以降のウェブの活用方針について、広報活動では、5割超の企業が「さらに活用」とし、「同程度活用」と合わせると、8割近くの企業が積極的に活用する方針。
- 選考活動では、「さらに活用」する企業は2割弱にとどまるものの、「同程度活用」と合わせると5割、「未定」としている企業も4割超存在。
- 2022年度入社の新卒採用予定数について、過半数の企業が「未定」となっているものの、「同程度の見込み」と回答した企業が4割強。

来年度以降の広報活動および選考活動におけるウェブの活用の方針

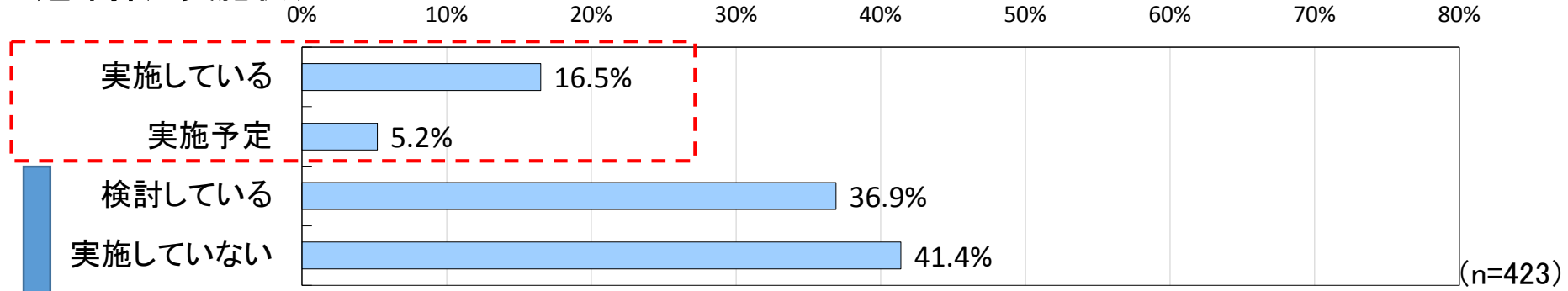
2022年度入社の新卒採用予定数(2021年度入社予定者比)



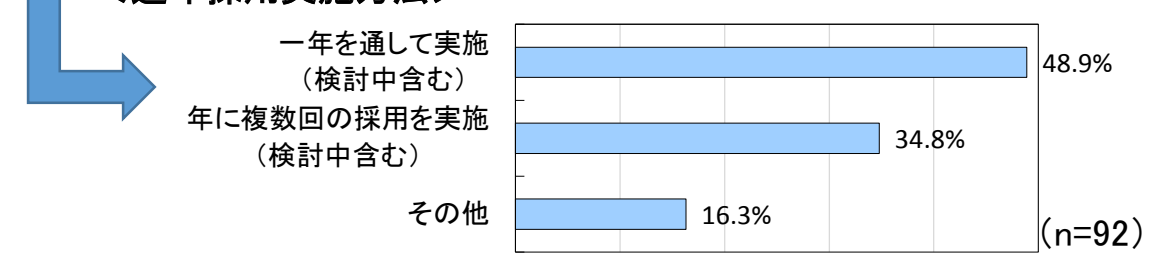
3. 新卒採用における「通年採用」の実施状況

- 新卒採用において、通年採用を実施している企業は、実施予定を含めると2割強、検討中を合わせると6割弱。実施方法については、「1年を通して実施」する企業が約5割。
- 今後5年間程度の方向性としては、未定との回答が多いが、増やしていくとした企業が2割弱。

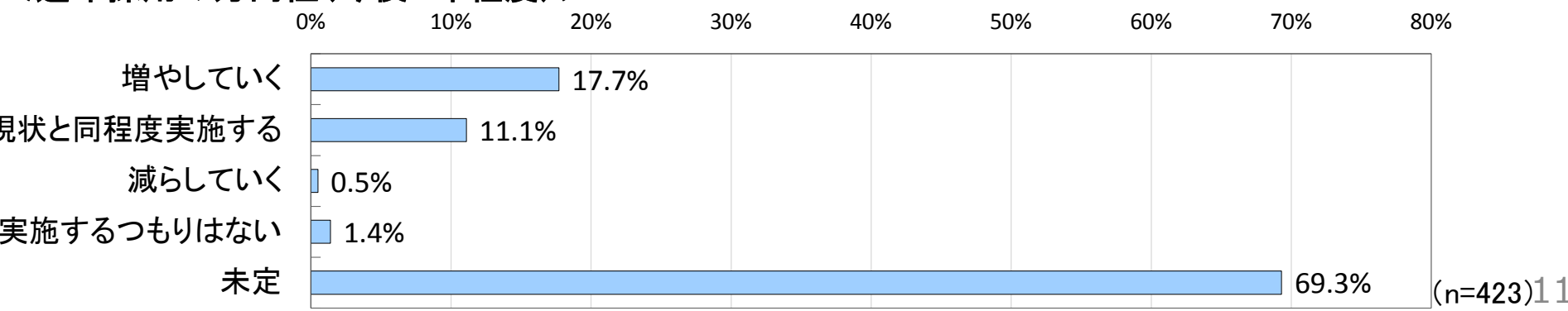
<通年採用実施状況>



<通年採用実施方法>



<通年採用の方向性(今後5年程度)>

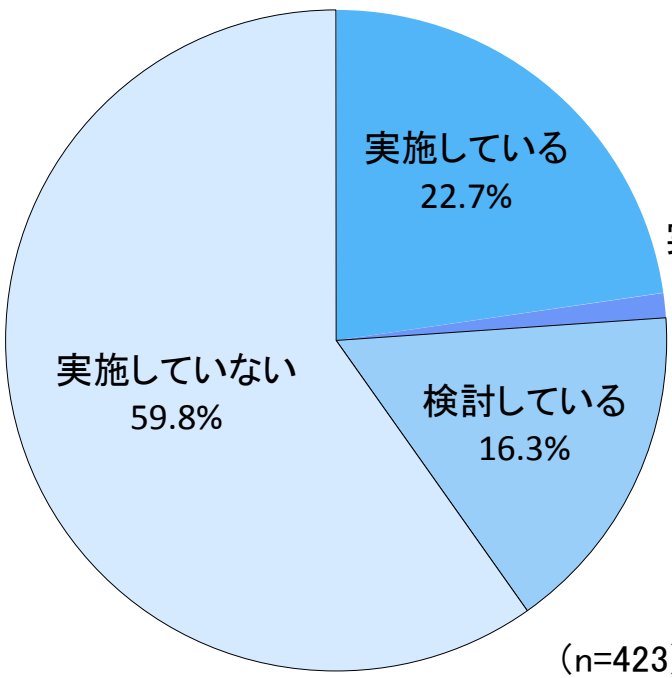


4. 新卒採用における「ジョブ型採用」の実施状況

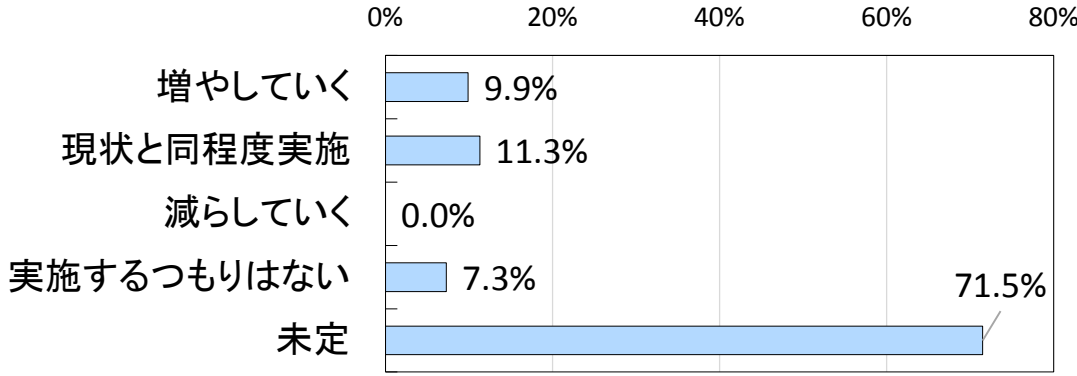
- ジョブ型採用を実施している企業は2割強、検討中を合わせると約4割。
- 今後5年間程度の方向性としては、約7割の企業が未定としたが、「増やしていく」「現状と同程度」がそれぞれ1割程度。適用する職務については、「一部職務に限定して適用」と回答した企業が6割強。

※「ジョブ型採用」は業務の遂行に必要な知識や能力を有し、特定の職務において、活躍してもらう、専門業務型・プロフェッショナル型に近い採用区分をイメージ。「欧米型」のように、特定の仕事やポストが不要になった場合に雇用自体が無くなることは想定していない。

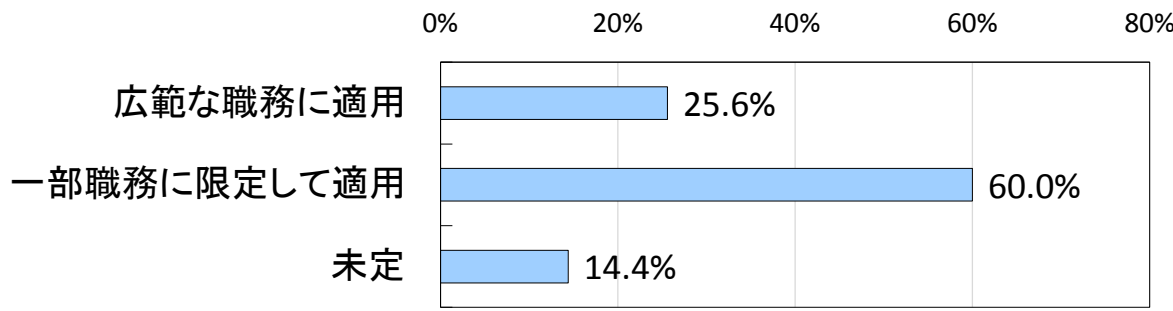
＜ジョブ型採用の実施＞



＜ジョブ型採用の方向性(今後5年程度)＞



＜ジョブ型採用を適用する職務に関する方向性＞



※ジョブ型採用を実施している職務：
「システム・デジタル・IT」、「研究・開発」、「営業」、
「経理・財務」、「法務・知財」等